

12/23 学生議会「一色中学校」 フリートークで出された意見

整理番号	生徒の意見	【市長の考えなど】	担当課
1	一色町の伝統的な祭りとして大提灯まつりがありますが、駐車場が少ないと感じます。多くの方が訪れやすい環境づくりとして駐車場を作るなど対策はしますか。	<p>【市長】</p> <p>新しく駐車場を作ろうとした場合、駐車場を作るための土地の購入費や土地の賃貸借費など多額の経費がかかります。大提灯まつり時以外でも、その駐車場を使用していただけば採算が取れ効果的だと思いますが、まつり時だけでは利用者が少ない中で維持をしていくためのコストがかかることも考えられます。多くの方が訪れやすい環境づくりとして、駐車場を作ることもひとつの方法ですが、現状では、大提灯まつり時に諏訪神社近隣の小学校の運動場をお借りし対応しています。例えば、今後の様子を見て、毎年駐車場が不足し、周辺住民の皆さんに来場者の車による渋滞で迷惑をかけてしまうなど問題があれば最適な方法を考えたいと思います。</p> <p>集客という面で、大提灯まつりではコスプレをやるなど最近では地元の若者が新しい風を吹き込み地域を盛り上げています。大提灯まつりは伝統ある祭りで伝統文化を守ることも大切ですが、新しい取り組みを仕掛けることで幅広い世代の皆さんに関心や共感を寄せていただけることを期待したいと考えています。</p>	商工観光課
2	路地に入ると、外灯（防犯灯）が少ないと感じます。	<p>【市長】</p> <p>外灯が少ない件については、他学校の学生議会でも意見が出ています。現在のシステムは、各町内会役員の皆さんが地域内で危険な個所（暗い場所）を調査し、防犯灯を設置するか協議していただいています。市は、町内会が地域内に防犯灯を設置する際に補助しています。危険な個所、暗い場所など特定できていれば、その場所について保護者の方から町内会の役員の方に話をいただければと思います。</p>	危機管理課
3	空き家が多過ぎると思います。台風などによる二次被害が心配です。空き家対策はどのように行っていますか。	<p>【市長】</p> <p>空き家対策は難しい問題です。現在日本の13%くらいの家が空き家だと言われていています。例えば、道路の方に飛び出している樹木などは、車両や歩行者の通行を妨げたりと明らかに危険性が高ければ市や県などから指導ができますが、家については、基本的に持ち主の財産であるため、その財産を持ち主がどう処分するかということは、その人の考えが一番優先されるため、市に何か言われる筋合いはないと言われてしまい難しい問題です。しかし、危険性が高い空き家があれば、市に情報提供していただければと思います。</p> <p>【市民部長】</p> <p>空き家については、個人の財産です。例えば、相続人が1人、2人くらいならば話がしやすいです。危険な空き家があり、「危険なまま放置すると損害賠償問題にも発展しますよ」などとデメリット等を伝えることができます。しかし、相続人が多数いる場合や、土地と建物の持ち主が別々の人など複雑な案件は、なかなか指導することが難しい状況です。市としても町内会長から相談を受けますので、対策としては定期的に持ち主等に話しはしていますが、個人の財産であるため、どこまで行政が入り込むことができるかなど本当に難しい問題です。空き家が社会問題化する中、「空家法」（空家等対策の推進に関する特別措置法）が2015年に施行され、これまで5年間ほど対応してきましたが、50件程度は対応が終わっています。</p>	地域つながり課

12/23 学生議会「一色中学校」 フリートークで出された意見

整理 番号	生徒の意見	【市長の考えなど】	担当課
4	旧一色支所について、バリケードが設置され中に入れないよう閉鎖されています。今後どうなるか教えてください。	<p>【市長】</p> <p>バリケードについては、できれば近いうちに撤去したいと思っておりますが、設置した会社との話し合いがまだまとまっていないため現在の状況となっております。また、跡地利用については、地元地区（一色二区）の方々を中心に今後の活用方法を協議していただいております。その中で、今は避難所として残し、将来的には準公的機関（農協等）に売却してはどうかという話がありました。それを基本的な方向性として、今後の方向性を考えていく必要があると考えています。一色地区は、土地が低い地域であるため、地震による津波被害が心配という声が多く寄せられますので、売却となった場合においては、売却先には防災・減災対策への協力など要請できればと思っております。</p>	資産経営課